

の部署に勤務した時には、男性職員が「派遣さん」と言ってきました。ちゃんと名前があるのに…と思いました。

2年を過ぎたころ、突然大学側から「契約はここまで」と告げられました。いわゆる解雇です。30代で未婚の私に「まだ未婚ですよ」「少子化対策もあると思います」「新卒を雇いたい」と言われ耳を疑いました。

配置転換や派遣切りはある日突然言い渡され、信じがたい、いわれのない差別を受けつらい日々でした。

必要とされている実感

青いそらに加入し、3年がたとうとしています。ここではみんなが経営もする、多くの仕事を役割分担してみんなで担います。メニューの考案を任されたり、自ら考え、自ら作ったものが商品としてお客様の前に出ていきます。一人一人が達成感をもって働ける他にはない働き方だと思います。私も必要とされ、人の役に立てているのだという実感があります。

30代から60代の人と一緒に働いていますが、世代にわけ隔てなく経営について意見交換したり、おいしいものを提供する為に一緒に考えていけたらと思います。ずっとつながりを持っていきたいと思っています。

NPO法人ワーカーズ・コレクティブ青いそら T

協同労働法制定フォーラム開催 この働き方で未来をひらく



2/3所沢ミューズでのフォーラムの様子 事例報告（ワーカーズ・コレクティブま・た・ね）

2017年11月 三郷文化会館 60名参加

2018年 2月 所沢ミューズ 80名参加

2018年 4月 さいたま市民会館おおみや 600名参加

貧困、格差の広がりや地域経済の疲弊、超高齢社会などの課題に対して、今切実に求められている協同労働の法制化。実現を期待し、その意義を伝える集会在埼玉県内3カ所で開かれました。

3カ所のフォーラムでは法制化の内容や進捗状況が報告され、それぞれの会場でトークセッション、地域の事例報告、参加者によるディスカッションなど多彩なプログラムが実行されました。

法制化については、ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパンと労働者協同組合に数回のヒアリングが行われ、現在法制局にて骨子素案が作成されている。内容では、ワーカーズメンバーを「出資する労働者」と位置づけ、「経営者」という記述はしない。届け出れば認められる準則主義により設立され、税制優遇措置はない。などの報告がありました。

大宮会場のトークセッションでは自由の森学園代表の菅間正道さんが、働くことに対して過労死かストリートライフへの道しかないというイメージを抱いている子供がいる。そのような社会をえるためにも、協同労働の法制化は必要であり、若い人が希望を持って社会に出ていけるようにしていきたい、と話されました。

書籍紹介

「共生と共歓の世界を創る」

～グローバルな
社会的連帯経済をめざして～
丸山茂樹 著



社会評論社
2,200円+税

ワーカーズ・コレクティブの「名づけ親」である著者が、社会的連帯経済やワーカーズ・コレクティブの研究を解説し、その運動を広げていくための手引を示した待望の書。

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会 情報誌 WAVE64

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋 1-5-3 ひゅうまんポスト2F

電話/FAX 048-844-0221

E-mail saitama.waakore@gmail.com

<http://saitama-workers.com/>

編集制作 ワーカーズ・コレクティブ ピアズねっと

1部 ¥100